



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東 名

上場会社名 アイカ工業株式会社

コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長 (氏名) 森永 博之

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

TEL 052-409-8261

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	66,398	39.0	6,502	20.5	6,691	22.4	3,645	17.1
25年3月期第2四半期	47,775	8.4	5,394	17.1	5,467	15.9	3,114	13.9

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 6,788百万円 (134.5%) 25年3月期第2四半期 2,895百万円 (10.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	55.87	55.81
25年3月期第2四半期	47.73	47.68

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	122,166		89,917		70.9
25年3月期	119,301		85,006		68.6

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 86,668百万円 25年3月期 81,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	17.00	—	19.00	36.00
26年3月期	—	19.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	139,000	37.1	14,100	16.8	14,300	13.1	8,000	4.8	122.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	67,590,664 株	25年3月期	67,590,664 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,340,758 株	25年3月期	2,339,783 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	65,250,166 株	25年3月期2Q	65,252,336 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

※ 当社は、以下のとおり決算説明会を開催する予定です。

・平成25年11月21日（木）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊急経済対策による公共投資の増加などに加え、金融緩和を受けた円安・株高の進行を下支えとして、個人消費の復調や企業業績の回復、雇用環境の改善や設備投資の持ち直しなど、自律的回復に向けた動きが見られました。

国内建築市場におきましては、景況感の改善に加え、住宅ローン金利や資材価格の先高感や、平成26年4月の消費増税を見据えた駆け込み需要などが個人の住宅取得を後押しするなど、住宅関連は好調に推移いたしました。また、非住宅関連につきましても、教育施設、医療・介護施設などを中心に堅調に推移しました。

このような経営環境の下、当社グループは、顧客に密着した営業活動の強化、市場ニーズにマッチした新商品開発と機能材料事業の強化などを推進いたしました。また、当社が平成24年12月に株式を取得いたしました、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社及びその子会社の業績が、第1四半期連結累計期間より組み入れられ、連結業績に大きく寄与いたしました。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高66,398百万円（前年同四半期比39.0%増）、営業利益6,502百万円（前年同四半期比20.5%増）、経常利益6,691百万円（前年同四半期比22.4%増）、四半期純利益3,645百万円（前年同四半期比17.1%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

(化成品セグメント)

接着剤系商品は、木工・家具向け汎用接着剤が低迷したものの、合板用接着剤や産業用アクリル樹脂系接着剤、ならびに新規分野として取り組んでいる太陽電池向け接着剤、自動車向け接着剤が順調に推移いたしました。一方、海外では、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社の子会社が、アジア太平洋地域における接着剤・産業用樹脂の需要を取り込むことができた結果、売上を伸ばすことができ、連結業績に大きく寄与いたしました。

樹脂系商品は、外装・内装仕上塗材「ジョリパット」や橋梁などの補修・補強材「ダイナミックレジン」が、戸建市場の活況と大手住宅メーカーでの採用増加、および改修市場への積極的な展開などにより、売上を伸ばすことができました。

有機微粒子は、塗料用途を中心に、売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は32,577百万円（前年同四半期比100.5%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）1,924百万円（前年同四半期比74.7%増）となりました。

(建装材セグメント)

建装材セグメントの主力市場である非住宅市場は、建設現場での工事遅れなどの影響で、大型商業施設や医療施設などの動きは鈍かったものの、教育施設の改修用途に注力した結果、売上高は堅調に推移いたしました。

高い意匠性と指紋などの汚れが目立ちにくい特性を持つメラミン化粧板「セルサス」、耐摩耗性・耐汚染性に優れた化粧ボード「マーレスボード」、0.7mmという薄さで不燃性を兼ね備えた薄物メラミン不燃化粧板「アイカフレアテクト」など、特徴のある商品は、デザイン性の追求、コストと機能の両立、安心・安全などのニーズを背景に売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は13,987百万円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）2,657百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

(住器建材セグメント)

不燃化粧材「セラール」は、住宅市場では、新築のほか、リフォームにおいてもキッチン・洗面などの水回り空間での採用を増やすことができました。非住宅市場では、教育施設、医療・介護施設などにおいて、改修用途も含めた幅広い需要をとらえ、順調に売上を伸ばすことができました。

メラミン化粧板を曲面加工したポストフォーム商品は、住宅およびマンションのキッチン扉や、店舗、医療・介護施設用什器を中心に好調に推移し、天然水晶を原材料にした高級人造石カウンター「フィオレストーン」は、豊富なデザインや優れた機能が評価され、集合住宅のキッチンカウンターを中心に採用が増えました。また、医療・介護施設、高齢者住宅に適した機能引戸「U. D.（ユニバーサルデザイン）コンフォートシリーズ」は、サービス付高齢者向け住宅の着工増と個人クリニックでの採用増により、売上を伸ばすことができました。

このような結果、売上高は17,096百万円（前年同四半期比10.3%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）2,755百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。

(電子セグメント)

プリント配線板は、開発案件の減少によりパターン設計が減少いたしました。半導体関連・工作機械などの分野で回復基調にあり、堅調に推移いたしました。

電子材料は、光学フィルム向けUV（紫外線）硬化型ハードコート樹脂「アイカイトロン」がタッチパネル市場の拡大とともに売上を伸ばすことができましたが、ハードコートフィルム「ルミアート」が減少し、前年を下回る結果となりました。

このような結果、売上高は2,736百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）344百万円（前年同四半期比24.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ2,864百万円（2.4%）増加し、122,166百万円となりました。主な資産の増減は「現金及び預金」が3,090百万円増加したこと、「商品及び製品」が556百万円増加したことなどによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ2,047百万円（6.0%）減少し、32,248百万円となりました。主な負債の増減は「支払手形及び買掛金」が2,156百万円、「未払法人税等」が641百万円、「賞与引当金」が181百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ4,911百万円（5.8%）増加し、89,917百万円となりました。主な増減は「四半期純利益」が3,645百万円となったこと、剰余金の配当を実施したことによる1,239百万円の支払いにより「利益剰余金」が2,405百万円増加するとともに、「その他有価証券評価差額金」が610百万円、「為替換算調整勘定」が1,751百万円増加したことなどによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.3ポイント増加し、70.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成25年4月30日に公表した業績予想を上回る見込みであることから下記のとおり修正いたします。

景気の先行きは不透明感を増しており、今後の景気の動向によって通期の業績見込みについては見直しが必要と判断した場合は速やかに開示いたします。

平成26年3月期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	135,000	13,400	13,500	7,800	119.54
今回発表予想(B)	139,000	14,100	14,300	8,000	122.61
増減額(B-A)	4,000	700	800	200	3.07
増減率(%)	3.0%	5.2%	5.9%	2.6%	2.6%
(ご参考)前期実績	101,353	12,069	12,640	7,633	116.98

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,981	22,071
受取手形及び売掛金	42,936	40,090
商品及び製品	4,616	5,172
仕掛品	546	559
原材料及び貯蔵品	4,239	4,176
その他	3,436	4,043
貸倒引当金	△184	△190
流動資産合計	74,573	75,923
固定資産		
有形固定資産	25,987	26,680
無形固定資産		
のれん	5,899	5,789
その他	1,666	1,706
無形固定資産合計	7,565	7,496
投資その他の資産		
その他	11,649	12,335
貸倒引当金	△474	△270
投資その他の資産合計	11,175	12,065
固定資産合計	44,728	46,242
資産合計	119,301	122,166
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,074	19,917
短期借入金	858	1,054
未払法人税等	2,907	2,265
賞与引当金	1,524	1,342
その他	4,515	4,143
流動負債合計	31,880	28,724
固定負債		
長期借入金	422	892
退職給付引当金	403	519
その他	1,588	2,111
固定負債合計	2,415	3,523
負債合計	34,295	32,248

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,269	13,269
利益剰余金	60,023	62,429
自己株式	△2,437	△2,384
株主資本合計	80,746	83,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,420	2,030
繰延ヘッジ損益	△4	△7
為替換算調整勘定	△311	1,439
その他の包括利益累計額合計	1,103	3,462
新株予約権	47	77
少数株主持分	3,108	3,172
純資産合計	85,006	89,917
負債純資産合計	119,301	122,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	47,775	66,398
売上原価	34,104	48,417
売上総利益	13,671	17,980
販売費及び一般管理費	8,276	11,478
営業利益	5,394	6,502
営業外収益		
受取利息	19	27
受取配当金	105	117
その他	164	300
営業外収益合計	288	445
営業外費用		
支払利息	5	47
売上割引	43	83
その他	165	125
営業外費用合計	214	256
経常利益	5,467	6,691
特別損失		
投資有価証券評価損	248	—
特別損失合計	248	—
税金等調整前四半期純利益	5,219	6,691
法人税、住民税及び事業税	1,784	2,434
法人税等調整額	238	244
法人税等合計	2,022	2,678
少数株主損益調整前四半期純利益	3,196	4,012
少数株主利益	82	366
四半期純利益	3,114	3,645

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,196	4,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△224	610
繰延ヘッジ損益	△1	△2
為替換算調整勘定	△75	2,168
その他の包括利益合計	△301	2,776
四半期包括利益	2,895	6,788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,801	6,004
少数株主に係る四半期包括利益	94	784

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,219	6,691
減価償却費	1,023	1,445
のれん償却額	6	631
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△49	△208
賞与引当金の増減額(△は減少)	△34	△192
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△50	77
受取利息及び受取配当金	△124	△145
支払利息	5	47
投資有価証券評価損益(△は益)	248	11
売上債権の増減額(△は増加)	2,990	3,493
たな卸資産の増減額(△は増加)	△164	△49
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△275	△594
仕入債務の増減額(△は減少)	△650	△2,601
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△23	△216
その他	111	217
小計	8,232	8,608
利息及び配当金の受取額	125	147
利息の支払額	△9	△15
法人税等の支払額	△2,364	△3,088
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,984	5,652
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,043	△1,661
無形固定資産の取得による支出	△105	△113
投資有価証券の取得による支出	△574	△216
投資有価証券の売却による収入	20	250
その他	△129	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,833	△1,824
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△111	80
長期借入金の返済による支出	△127	△155
長期借入れによる収入	79	718
配当金の支払額	△1,109	△1,239
少数株主への配当金の支払額	△45	△586
自己株式の売却による収入	110	117
リース債務の返済による支出	△35	△32
少数株主からの払込みによる収入	114	—
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,125	△1,098
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	360
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,017	3,090
現金及び現金同等物の期首残高	30,114	18,981
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,131	22,071

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品	建装材	住器建材	電子	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,250	13,322	15,494	2,707	47,775	—	47,775
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,237	956	—	—	2,194	△2,194	—
計	17,488	14,279	15,494	2,707	49,969	△2,194	47,775
セグメント利益	1,101	2,553	2,552	276	6,483	△1,089	5,394

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,089百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,088百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	化成品	建装材	住器建材	電子	計		
売上高							
外部顧客への売上高	32,577	13,987	17,096	2,736	66,398	—	66,398
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,513	1,117	—	—	2,631	△2,631	—
計	34,090	15,105	17,096	2,736	69,029	△2,631	66,398
セグメント利益	1,924	2,657	2,755	344	7,681	△1,179	6,502

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,179百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,177百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

平成 26 年 3 月期 第 2 四半期連結決算発表参考資料

平成 25 年 10 月 30 日
アイカ工業株式会社
 コード番号 4 2 0 6
 東証・名証（市場第一部）

1. 連結中間会計期間の業績推移

(単位：百万円未満切捨)

期 別	売上高	対前年同期 増減率	営業利益	対前年同期 増減率	経常利益	対前年同期 増減率	中間純利益	対前年同期 増減率
平成								
22年3月中間期(実績)	38,839	△11.8 %	3,334	△8.5 %	3,455	△8.7 %	1,976	△5.2 %
23年3月中間期(実績)	41,984	8.1	4,038	21.1	4,120	19.2	2,356	19.3
24年3月中間期(実績)	44,054	4.9	4,606	14.1	4,716	14.5	2,733	16.0
25年3月中間期(実績)	47,775	8.4	5,394	17.1	5,467	15.9	3,114	13.9
26年3月中間期(実績)	66,398	39.0	6,502	20.5	6,691	22.4	3,645	17.1
26年3月中間期(当初予想)	63,000	31.9	5,900	9.4	5,950	8.8	3,400	9.2

2. 通期の業績推移と業績予想

(単位：百万円未満切捨)

期 別	売上高	対前 増減率	営業利益	対前 増減率	経常利益	対前 増減率	当期純利益	対前 増減率
平成 22年3月期(実績)	80,984	△7.6 %	7,436	6.1 %	7,644	8.8 %	4,452	24.2 %
23年3月期(実績)	89,216	10.2	9,286	24.9	9,447	23.6	5,417	21.7
24年3月期(実績)	95,071	6.6	10,564	13.8	10,771	14.0	5,986	10.5
25年3月期(実績)	101,353	6.6	12,069	14.2	12,640	17.3	7,633	27.5
26年3月期(予想)	139,000	37.1	14,100	16.8	14,300	13.1	8,000	4.8
26年3月期(当初予想)	135,000	33.2	13,400	11.0	13,500	6.8	7,800	2.2

※通期の業績予想につきましては、平成 25 年 4 月 30 日公表の業績予想から修正しております

3. セグメント別売上高

(単位：百万円未満切捨)

報告セグメント	平成 25 年 3 月 中間期			平成 26 年 3 月 中間期		
	売上高 (実績)	構成比	対前年同期 増減率	売上高 (実績)	構成比	対前 増減率
化 成 品	16,250	34.0 %	3.2 %	32,577	49.1 %	100.5 %
建 装 材	13,322	27.9	17.3	13,987	21.1	5.0
住 器 建 材	15,494	32.4	11.7	17,096	25.7	10.3
電 子	2,707	5.7	△12.4	2,736	4.1	1.1
合 計	47,775	100.0	8.4	66,398	100.0	39.0